

## 認知症を有する COVID-19 感染患者の入院の実態調査

2019 年から 2022 年までに東京労災病院に入院した COVID-19 の患者さん

### 研究協力をお願い

東京労災病院脳神経内科および呼吸器内科では「認知症を有する COVID-19 感染患者の入院の実態調査」という研究を行います。この研究は、2019 年 12 月 1 日より 2022 年 12 月 31 日までに東京労災病院に入院した COVID-19 の患者さんのうち、認知症を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただきず、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：認知症を有する COVID-19 感染患者の入院の実態調査

研究期間：2023 年 1 月 1 日～2025 年 3 月 31 日（入院期間の対象は 2019 年 12 月 1 日～2022 年 12 月 31 日）

研究責任者：東京労災病院 脳神経内科 三品 雅洋

### (2) 研究の意義、目的について

東京労災病院に入院した COVID-19 患者の悉皆データベースを作成し、認知症の有病率・診断・頭部画像の有無・看護の問題点を調査します。約 2 年間でウイルス株の特徴や診療が大きく変わったため、経時的な変化も確認します。これらのデータから、今後の COVID-19 患者の医療体制の改善に貢献します。また、今後起こりうるであろう、新規感染症のパンデミックでも参考資料となります。

### (3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

この研究は、東京労災病院認知症ケアチーム・脳神経内科・呼吸器内科・医療サポートセンター・看護部が行います。

2019 年 12 月 1 日より 2022 年 12 月 31 日までに東京労災病院に入院した患者さんのうち、COVID-19 患者を抽出し、発症時期・年齢・認知症の種類・身体拘束の状況などを統計解析します。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、既往歴・合併症、認知症の病名、入院日、身体拘束の有無、頭部画像の有無など

### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。データは暗号化したデータベースに保管し、そのサーバーは施錠された部屋で管理します。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

患者さん・そのご家族から、研究を継続されることについて同意の撤回がなされた場合は、個人情報は速やかに廃棄します。また、研究結果の報告、発表に関して、個人を特定される形では公表しません

### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

### (6) 問い合わせ等の連絡先

東京労災病院 脳神経内科 部長 三品 雅洋

〒143-0013 東京都大田区大森南 4-13-21

電話番号：03-3742-7301（代表）

メールアドレス：mi shi na @nms. ac. jp